

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号： 26-89

補助事業名： 平成26年度 エンジニアリングアプローチを用いた地域産業の活性化の
調査研究補助事業

補助事業者名： 一般財団法人 エンジニアリング協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

都市と地域、農林水産業とエンジニアリング産業、及びそれらを融合させたバイオマス技術等が補完し合うことから得られる改善策とその過程で得られた新しいアイデアを事業に結び付けることを本調査研究の目的としている。

(2) 実施内容 (<http://www.ena.or.jp/jka-subsidy-business/h26>)

2 ワーキンググループを編成し、各々のテーマの調査研究を開始した。

第1WG： バイオマス技術の活用と普及

第2WG： 都市部との連携による6次産業化システム

各ワーキンググループのそれぞれの担当分野について調査・検討を行った。

【講演会】

①□講演テーマ： 「微生物燃料電池について」

②□講演テーマ： 「藻類の燃料・原料に関する研究について」

【現地調査】

①□調査先： 富士通株式会社 会津若松工場 (福島県)

目的： 新規ビジネス展開に関する状況等調査

②□調査先： 東濃ひのき製品流通協同組合 (岐阜県)

目的： バイオマス利用 (森林資源活用) 発電事業の事例調査

③□調査先： 珠洲市 浄化センター (石川県)

目的： バイオマスメタン発酵施設の調査

④□調査先： 黒部市 黒部浄化センター (富山県)

目的： バイオマスエネルギー利活用施設整備運営事業等の調査

⑤□調査先： (一社) ソーラーシェアリング協会 実証実験場林農園 (千葉県)

目的： ソーラーシェアリングの普及効果に関する調査

⑥□調査先： 南但広域行政事務組合 南但クリーンセンター (兵庫県)

目的： 高効率原燃料回収施設に関する調査

<調査訪問状況> (富士通会津若松工場)



(工場正門前)



(概要説明状況)



(無菌室前にて見学状況)



(無菌室内のやさい(レタ)栽培状況)

<調査訪問状況> (東濃ひのき製品流通協同組合)



(全景)



(集合写真)

<調査訪問状況> (珠洲市 浄化センター)



(全景)



(視察状況)

<調査訪問状況> (黒部市 黒部浄化センター)



(全景)



(視察状況)

<調査訪問状況> (ソーラーシェアリング協会 実証実験場)



(全景)



(全景)

<調査訪問状況> (南但クリーンセンター)



(全景)



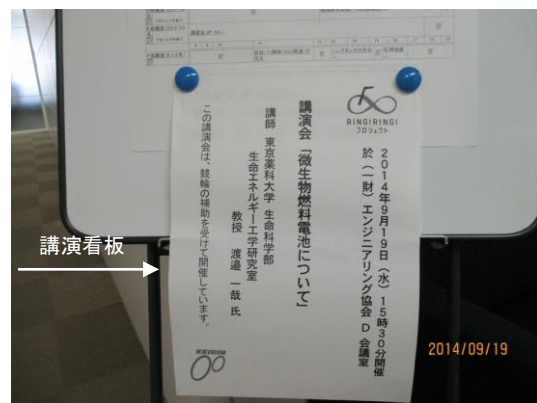
(集合写真)

第1回講演会(微生物燃料電池について)風景写真

<第1回 講演会開催状況>



(協会入口前看板)



(協会入口前看板拡大)



(講演開催風景)



(講演開催風景)

第2回講演会(藻類の燃料原料利用について)風景写真

<第2回 講演会開催状況>



(協会入口前看板)



(協会入口前看板拡大)



(講演開催風景)



(講演開催風景)

2. 予想される事業実施効果

本調査研究は、持続可能な循環型社会、低炭素社会の実現に向けた継続的な調査研究の一環であるが、今年度は特にエンジニアリング的アプローチを重視した新たな切り口で、バイオマス技術の活用と普及および地方と都市部との連携による農林漁業の6次産業化システムのあり方について、より具体的に提言することを試みた。

今後、各地域の事情に基づく産業構造的課題および自治体の体制的課題や制度的課題への対応も含めた深掘り調査検討がさらに必要である。

本成果は、単に木質バイオマス発電やメタン発酵発電事業の促進ではなく、上流の林業の活性化から製材・加工業の活性化等を経て発電および集約的熱利用に至るカスケード的な産業活性化と、公共静脈施設における複合的バイオマス利用の促進に伴う地場産業の活性化や防災拠点機能の強化につながり、総合的に地域産業の発展に貢献する。

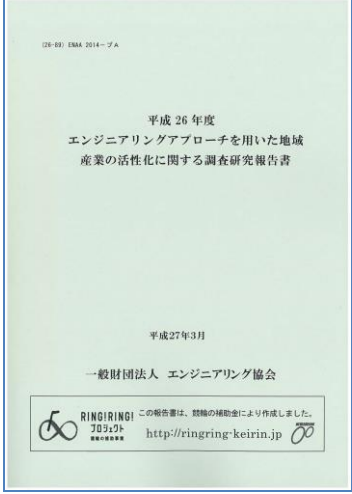
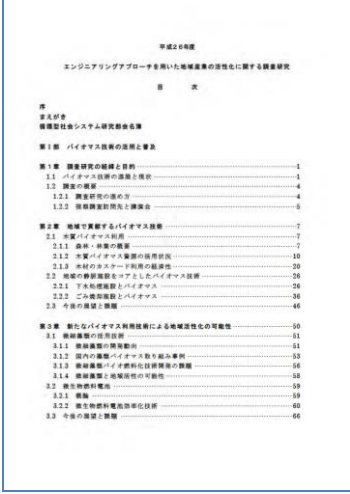
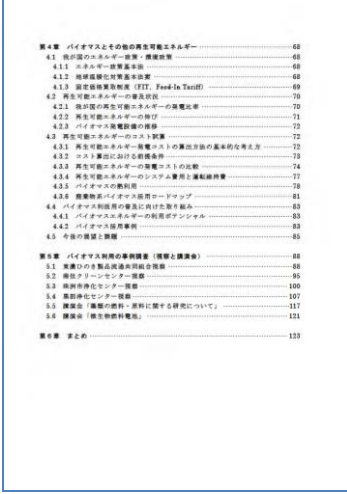
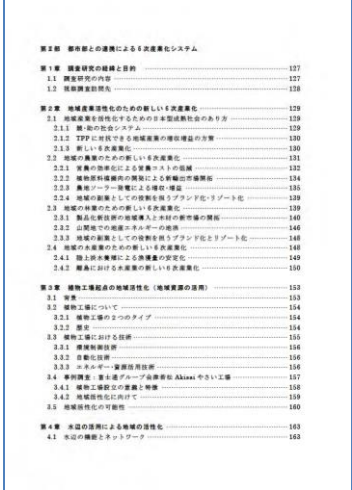
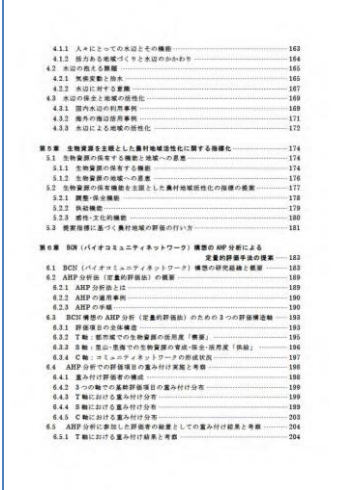
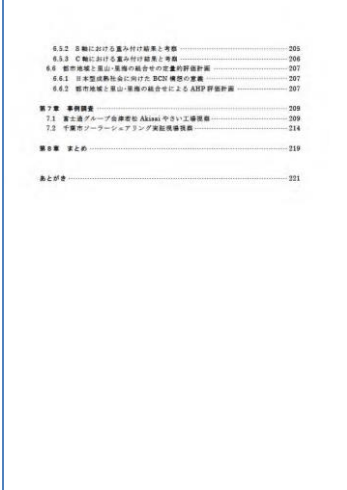
また、農林漁業の持つ生物資源をエンジニアリングアプローチにより再評価・活用することは、「地域」と「都市部」とのネットワーク化を促進し、農林漁業の6次産業化と

いう形で、地域産業の発展に繋がって行く。

3. 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの (<http://www.ena.or.jp/?fname=26-89.pdf>)

平成26年度エンジニアリングアプローチを用いた地域産業の活性化の調査研究報告書 報告書の表紙と目次

| | | |
|--|---|--|
|  <p>平成26年度 エンジニアリングアプローチを用いた地域 産業の活性化に関する調査研究報告書</p> <p>平成27年3月</p> <p>一般財団法人 エンジニアリング協会</p> <p>RINGRING! この報告書は、賛助の補助金により作成しました。 http://ringring-keirin.jp</p> |  <p>平成26年度 エンジニアリングアプローチを用いた地域産業の活性化に関する調査研究</p> <p>目次</p> <p>序文</p> <p>第1章 調査研究の経緯と目的</p> <p>第2章 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>第3章 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>第4章 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>第5章 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> |  <p>第4章 バイオマスとその他の再生可能エネルギー</p> <p>4.1 国内のバイオマス資源</p> <p>4.1.1 エネルギー資源</p> <p>4.1.2 地域産業活性化</p> <p>4.2 再生可能エネルギーの普及状況</p> <p>4.2.1 再生可能エネルギーの普及状況</p> <p>4.2.2 バイオマス発電の普及</p> <p>4.3 再生可能エネルギーの普及促進</p> <p>4.3.1 再生可能エネルギー普及促進の推進</p> <p>4.3.2 バイオマス発電の普及促進</p> <p>4.3.3 バイオマス発電の普及促進</p> <p>4.4 バイオマス発電の普及促進</p> <p>4.4.1 バイオマス発電の普及促進</p> <p>4.4.2 バイオマス発電の普及促進</p> <p>4.5 今後の展望</p> <p>第5章 バイオマス発電の普及促進 (環境と健康)</p> <p>5.1 環境と健康</p> <p>5.2 環境と健康</p> <p>5.3 環境と健康</p> <p>5.4 環境と健康</p> <p>5.5 環境と健康</p> <p>5.6 環境と健康</p> <p>第6章 家とめ</p> |
|  <p>第2章 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.1 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.2 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.3 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.4 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.5 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.6 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.7 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.8 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.9 調査研究の経緯と目的</p> <p>2.10 調査研究の経緯と目的</p> |  <p>4.1 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.1.1 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.1.2 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.2 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.2.1 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.2.2 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.3 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.3.1 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.3.2 人々にとっての本質とその価値</p> <p>4.3.3 人々にとっての本質とその価値</p> <p>第5章 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.1 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.2 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.3 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.4 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.5 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>5.6 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> |  <p>6.3.2 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.3.3 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.1 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.2 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.3 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.4 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.5 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.6 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.7 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.8 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.9 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>6.4.10 地域産業活性化のための新しい研究開発</p> <p>第7章 家とめ</p> <p>7.1 家とめ</p> <p>7.2 家とめ</p> <p>7.3 家とめ</p> <p>7.4 家とめ</p> <p>7.5 家とめ</p> <p>7.6 家とめ</p> <p>7.7 家とめ</p> <p>7.8 家とめ</p> <p>7.9 家とめ</p> <p>7.10 家とめ</p> |

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人エンジニアリング協会

(イッパンザイダンホウジンエンジニアリングキョウカイ)

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門三丁目18番19号(虎ノ門マリンビル10階)

代表者： 理事長 佐藤 雅之 (サトウ マサユキ)

担当部署： 総務部

担当者名： 部長代理 亀井 秀次 (カメイ ヒデツグ)

電話番号： 03-5405-7201

F A X : 03-5405-8201

E-mail : kamei@enaa.or.jp

URL : <http://www.enaa.or.jp>